



「ザンビアのストリートキッズに服を送ろう」とよびかけました。



服をていきょうしていただきました。



着れなくなった洋服をアフリカへ送ってください
ありがとうございます

写真をはったり、イメージ



洋服やくつ 文ぼう具が90kgも集まりました。8月23日 船びんで送りました。



11月27日 ザンビアのストリートキッズにせつにばききました。



エコだと思っことをかこう
着られなくなった服を、ひょうとして送る人々に送ること。



新聞の名前をかこう

- ① 青山学院初等部
② 横浜和光小学校
- | | | |
|---|---|------|
| ① | 3 | 桜 |
| ② | 3 | 年 2組 |
- お名前
① 山本 龍 雅
② 櫛 筈 薫



私たちが子どもは、毎年身長が大きいので、一年前まで着ていた洋服が着られなくなってしまうます。私たちは以前から小さくなった服が着られなくなってしまうのがもったいないので、つづかならぬかと思っていました。

ある時遠くアフリカのザンビアに住む日本人の友だちからストリートキッズの話を知りました。かれらは洋服やくつがなく冬にはとても寒い思いをしているという話でした。そこで私たちは考えました。ストリートキッズに服を送ろう。

洋服を集めるためにクラスメイトやその友達と協力して、協力をお願いしました。すると大きなダンボール箱が分けてくれるの、いらなくなつたけれど、きれいな洋服やくつ、文ぼう具、切手が集まりました。それらを大きなダンボールにすまなくつめました。自分たちでは持てないくらい重かったので、ゆうびん局に連絡して集荷してもらいました。送料は一万三千二百五十円でした。とう着に2ヶ月かかりました。ストリートキッズたちがどいた洋服を着てよるこんでくれているオカたを写真で見るともううれしい気持ちになりました。

着なくなった洋服をストリートキッズに送ると、オカたでゴミになつてしまつ洋服がへり、再び人々の役に立ちます。これは洋服たちに新しい命があたえられる事だ。と私たちは考えました。これからも地球のためにも、人々のためになるこの活動をつづけていきます。そして、地球温暖化を止める事ができますように。